

# ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

**あなたの声をお寄せください**  
 まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やリサイクル情報（譲りたい、譲ってほしい）、イラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。

**まちづくり課 企画調整係**  
 ☎(32)2111(内線357)

**9月の納期**  
 ◆国民健康保険税第2期  
 ◆介護保険料第3期  
 ◆後期高齢者医療保険料第2期  
**10月2日(月)まで**  
 忘れずに納税しましょう。

タバコは町内で買ひましよう。  
 6月のタバコ税は1,751,568円  
 9月の舟形若あゆ温泉の  
 休館日は13日(水)

## やまがた百名山

山形県には、雪国ならではの山の魅力があり、登山者向けの本格的な山や身近に親しまれている里山などが数多くあります。「やまがた百名山」は、8月11日が「山の日」として祝日になったことを契機に、山の魅力を認識し愛着を高め、山岳観光の振興につなげていくことを目的に計100山を選定したものです。  
 舟形町では、町で整備している東北自然歩道「縁結びの道」で知られる、「猿羽根山」が選ばれました。ご家族やご友人と「やまがた百名山」に登り、自然とふれあう機会を作っていただければと思います。

**[ 猿羽根山 さばねやま ]**

▲ 標 高 160m

🕒 歩行時間 片道：約1時間20分



羽州街道の道中でも難所として知られていた猿羽根峠は、かつて尾花沢から新庄へ至るための主要な峠として、たくさんの人々が行き交いました。松尾芭蕉、斎藤茂吉、イザベラ・バード、清河八郎なども猿羽根峠を越え、多くの言葉を残しています。  
 一帯は猿羽根山自然公園として整備されており、四季折々の花が訪れる人の目を楽しませてくれます。「やまがた景観物語おすすめビューポイント53」に選ばれるほどの素晴らしい眺望に加え、山頂まで車で行くことができる手軽さも魅力です。

**登山適期**      **6月～10月**

やまがた山（山形県山岳情報ポータルサイト）<http://yamagatayama.com/>  
 ▼問い合わせ／舟形町まちづくり課交流促進係 ☎(32)2111(内線355)

## 新刊書の紹介

（生涯学習センター・観光物産センターめぐみ）



『つばさくん、優しいばあばが大好き』  
 楠 童子／著

つばさくんは、優しいばあばが大好き。このごろ、ばあばは何度も同じ質問をしてきたり、得意な編み物もできなくなってしまった。ばあばは「わすれてしまう病気」なんだ…。認知症や介護を考える絵本です。



『ハリネズミの願い』  
 トーン・テレヘン／著

自分のハリが大嫌いで、ほかの動物たちとうまくつきあえないハリネズミが、誰かを家に招こうと思いつく。招待状を書き始めるが、手紙を送る勇気が出ず…。2017年 本屋大賞 翻訳小説部門に輝いた作品です。

## おはがき紹介コーナー

### 猫について

私は猫を飼っています。最近、猫ブームということもあって猫を飼いたいという方も増えているのではないかと思います。安易な気持ちで飼ってしまい、途中で飼えなくなり捨て猫にしてしまったり、去勢や避妊をしないままにいると、望まない子猫もたくさん産まれてしまいます。そのまま放置しておく、途方もなく繁殖し、対応に困り、捨て猫が野良猫になってしまったりします。さらに保健所に持ち込まれて殺処分がされてしまう猫たちが多くいるようです。

生きていく以上、毎日ごはんを食べなければなりません。野良猫になってしまった猫たちの生活は、私たちの想像を超える過酷な生活が強いられ

ます。生きていくことは、人間でも猫でも同じことです。生き物の命に責任をもって対応する自信がなければ猫を飼わないでください。

また、猫が好きではない方もいるということも認識して猫を飼ってほしいと思います。  
**【匿名希望】**

おはがきありがとうございます。おっしゃるとおり、生き物の命に責任を持つことはとても大切なことです。近年、全国的にペットを飼う人が増える一方で、捨て猫等が増えることによる殺処分、感染性やフンなど、たくさん課題が出てきています。

舟形町でも、飼い主のマンーや野良猫に関しての相談や苦情も寄せられている現状です。町としては、広報ふながた等を通じて、ペットの飼育方などについて周知・啓発をしていきたいと考えています。  
**【住民税務課生活安全係】**

# 舟形文芸ひろば

## 短歌

年寄りや温かくあれと書きあるも遣りたい欲の今だ失せず

- 木瓜の花の会      佐藤 景雄（沖の原）
- ミナエエガ チョットマテチョットマテ準備促すあり余裕求むあり小鳥の聞きなきく朝野良仕事
- 木瓜の花の会      佐藤 和夫（西 堀）

### 「国宝」縄文の女神へのおもひを：『千風会』

さまざまな想像を重ね縄文の女神の生涯の古代のふ  
 英知とロマンを求めて「縄文の女神」を読む。想像の世界があたかも  
 真実の事の様で、ついつい作者に共鳴。古代への旅におもひをはたかせました。  
 千風会      畠 山 ひろみ（木 友）  
 縄文の女神ほほえむ火祭りを親子仰ぎて歴史をかたらふ  
 千風会      森 勝 広（舟形第四）  
 人々は縄文女神の御姿その知性美に一瞬とらわれ恋のとりこに  
 千風会      吉 田 智 子（盛岡市）  
 めぐり来て豊かなこの大地なほ高度に築きし縄文時代の英知の遺産尊し  
 千風会      小 野 光 子（真木野）  
 遥かなる夢路をたどりてステージへファッションモデルか縄文の女神  
 千風会      景 山 晃 佑（仙台市）  
 かなかなの蟬なく夕べを草に臥し縄文女神のひと世の古代へ想ふ  
 ・女神の丘は、私の畠の真前。八月五日の火祭りは古代ロマンの世に生きた  
 女神にとどいたでしょうか。  
 ・自費出版「国宝・縄文の女神古代へ誘ふ」をお読みくださり、短歌として  
 感想を賜りました。また多くの方々よりお読みいただき、心ざしをいただき  
 ありがとうございます。  
 千風会      沼 澤 千 鶴 子（鶴陽）（舟形第四）

## 俳句

清流やしなる竿先鮎はねる      佐藤 孝 子（舟形第二）

読めぬ児に将棋駒買ふ爺の夏      佐藤 昭 子（長沢第一）

緑蔭にリュック枕の旅の人      大 場 小 夜 子（内 山）

亡母送る正装の友夏座敷      柏 木 伸 子（長沢第三）

山百合の香りをままとひお地蔵さま      真 見 七 生（舟形第四）

当季三つ物（連句）  
 三伏の山風入れし夕べかな      井 上 玲 虹（野）  
 田小屋に黙と破れ菅笠  
 刈り残す畦に干草匂ふらん

北陽社  
 付合句  
 大夕立堰の芥も総浚ひ      大 沼 寿 生（山形市）  
 心洗はる暮れ色の解夏      井 上 玲 虹（野）